

平成 26 年度  
東みよし町普通会計財務諸表  
(概要)

一 般 会 計

貸借対照表  
(平成27年3月31日現在)

(単位:千円)

【貸借対照表】  
町が住民サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源で賄ってきたかを総括的に対照表示した財務諸表

現在行政目的のために使用されている資産額

現在行政目的のために使用されていない資産額

特定の目的のために貯めている積立

1年以上回収されていない町税等の

平成26年度中に回収されなかった町税等の債権

現在町が住民サービスを提供するために保有している資産の総額

借方		貸方	
資産の部		負債の部	
<b>1 公共資産</b>		<b>1 固定負債</b>	
(1)有形固定資産	36,329,091	(1)地方債	9,137,418
(2)売却可能資産	199,087	(2)長期未払金	47,552
公共資産合計	36,528,178	(3)退職手当引当金	1,643,955
		(4)損失補償等引当金	0
		(5)その他	0
<b>2 投資等</b>		固定負債合計	10,828,925
(1)投資及び出資金	590,875		
(2)貸付金	13,886	<b>2 流動負債</b>	
(3)基金等	1,690,801	(1)翌年度償還予定地方債	983,806
(4)長期延滞債権	105,565	(2)短期借入金	0
(5)回収不能見込額	△ 4,035	(3)未払金	11,346
投資等合計	2,397,092	(4)翌年度支払予定退職手当	0
		(5)賞与引当金	79,994
		(6)その他	0
<b>3 流動資産</b>		流動負債合計	1,075,146
(1)現金・預金	4,592,111		
(2)未収金	28,516	負債合計	11,904,071
流動資産合計	4,620,627		
		<b>純資産の部</b>	
		純資産合計	31,641,826
<b>資産合計</b>	<b>43,545,897</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>43,545,897</b>

平成28年度以降に返済する予定の借金残高

平成28年度以降に支払う予定の債務残高

平成26年度末までに発生した、特別職を含む全職員に将来支給すべき退職手当

平成27年度に返済する予定の借金残高

平成27年度に支払う予定の債務残高

資産形成のために発行した借金の残額【将来世代の負担となる額】

資産形成のためすでに支払った額【現世代が負担してきた額】

**【行政コスト計算書】**  
 平成26年度の行政活動のうち、福祉活動やごみの収集といった資産形成に結びつかない行政サービスにかかる経費と、その行政サービスの直接の対価として得られた財源を対比させた財務諸表

行政コスト計算書

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:千円)

経常行政コスト	6,966,553
1 人にかかるコスト	1,378,077
(1)人件費	1,189,318
(2)退職手当引当金繰入等	108,765
(3)賞与引当金繰入額	79,994
2 物にかかるコスト	2,562,119
(1)物件費	1,040,082
(2)維持補修費	30,648
(3)減価償却費	1,491,389
3 移転支的コスト	2,911,078
(1)社会保障給付費	928,462
(2)補助金等	1,012,215
(3)他会計等への支出金	845,669
(4)他団体への公共資産整備補助金等	124,732
4 その他のコスト	115,279
(1)支払利息	102,730
(2)回収不能見込計上額	12,549
(3)その他行政コスト	0
経常収益	215,162
1 使用料・手数料等	146,381
2 分担金・負担金・寄附金	68,781
純経常行政コスト(経常行政コストー経常収益)	6,751,391

資産形成に結びつかない1年間の行政サービスを提供するために要した経費

施設利用料など主に行政サービス提供の過程で得られた受益者負担額

経費から受益者負担を差し引いた額【町税や地方交付税といった一般財源等で賄わなければならないコスト】

【純資産変動計算書】  
貸借対照表上の純資産合計が  
1年間でどのように変動した  
かを表している財務諸表

純資産変動計算書  
(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:千円)

期首純資産残高	31,737,876
1 純経常行政コスト	△ 6,751,391
2 一般財源	
(1) 地方税	1,283,395
(2) 地方交付税	3,748,005
(3) その他行政コスト充当財源	496,431
3 補助金等受入	1,333,701
4 臨時損益	△ 21,663
5 資産評価替えによる変動額	△ 184,528
6 無償受贈資産受入	0
7 その他	0
期末純資産残高	31,641,826

平成26年度当初時点の純資産  
残高

平成26年度末時点の純資産  
残高

純資産は1年間で9,605万円  
減少しました。

**【資金収支計算書】**

現金の出入りの情報を3つの区分に分けて表示した財務諸表

**資金収支計算書**

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:千円)

<b>経常的収支の部</b>	
支出合計	5,295,204
収入合計	7,822,718
経常的収支額	2,527,514
<b>公共資産整備収支の部</b>	
支出合計	1,492,243
収入合計	974,683
公共資産整備収支額	△ 517,560
<b>投資・財務的収支の部</b>	
支出合計	2,044,869
収入合計	13,736
投資・財務的収支の額	△ 2,031,133
翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	△ 21,179
期首歳計現金残高	559,317
期末歳計現金残高	538,138
<b>基礎的財政収支(プライマリーバランス)</b>	<b>574,439</b>

日常の行政サービスを行うにあたって必要な収支

公共資産の整備を行うにあたって必要な収支

経常的収支や公共資産整備収支以外の収支

借金の発行や償還、預金の積立や取崩しを除いた基礎的財政収支は黒字になっており、平成26年度の収入で平成26年度の行政サービス等に要した支出が賄っていたと言えます。